

2022年4月 全国百貨店売上高概況

2022年5月24日

I. 概況

1. 売上高総額	3,778億円余
2. 前年同月比(増減率)	19.0%(店舗数調整後/2か月連続プラス)
3. 調査対象百貨店	73社 190店 (2022年3月対比±0店)
4. 総店舗面積	4,906,480㎡ (前年同月比:-0.9%)
5. 総従業員数	56,411人 (前年同月比:-3.4%)
6. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	9-11月 2.7%、10-12月 6.9%、11-1月 10.3%、 12-2月 8.1%、1-3月 6.4%、2-4月 7.4%

[参考] 2021年4月の売上高増減率は167.0%(店舗数調整後)

【特徴】

4月の売上高は19.0%増、入店客数は18.7%増と、共に二桁の伸びとなった。

前年の緊急事態宣言等による営業制限の反動に加え、先月下旬のまん延防止等重点措置解除に伴う外出機会の増加や、高伸が続く高額品、天候与件から活発に動いた春夏物商材などが寄与した。3年ぶりに行動制限のないGW前半戦は多くの店舗で賑わいを見せ、各社が展開した会員向け企画や物産展など食品催事、外国展などの各種イベントも好評だった。2019年比では売上高13.8%減、入店客数25.2%減となった。

顧客別では、国内市場18.6%増(2か月連続/シェア98.2%)、インバウンドは47.6%増(3か月ぶり/シェア1.8%)と、共に前年実績を超えた。なお、インバウンドは、コロナ前(2019年比)と比べて80.6%減と厳しい状況が続いている。

地区別では、全地区で前年をクリアした大都市(10都市/7か月連続)が24.0%増と伸長した。地方(10都市以外の地区/3か月ぶり)は6地区で前年を上回り、6.9%増とプラスに転じた。

商品別では、主要5品目全てでプラスとなった。ラグジュアリーブランドや時計・宝飾等の高額商材は引き続き増勢で、特に、美術・宝飾・貴金属はコロナ前の水準を上回った(2019年比20.5%増)。衣料品では、気温上昇などから季節アイテムが好調だった他、オケージョーンニーズでフォーマルウェアも動いた。食料品は、食品催事や、手土産などギフト需要の増加から、和洋菓子・惣菜を中心に好調で、一部店舗においてはリニューアルによる改装効果も見受けられた。生鮮食品は野菜の価格高騰などもあり苦戦が続く。母の日ギフトやランドセル商戦は、店舗とECとの連動施策も奏功し、好調な滑り出しを見せた。

加盟各店では、感染防止対策に引き続き注力しつつ、消費者ニーズに即した営業施策を積極展開することで、業績回復に向けた取り組みを進めている。

【要因】

(1) 天候：気象庁発表「4月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)

◇全国的に気温は高く、特に北・東日本でかなり高かった。東日本太平洋側の降水量はかなり多く、北日本太平洋側の降水量はかなり少なかった。また、高気圧に覆われる日が多かったため、北日本の日照時間はかなり多かった。

(2) 営業日数増減 29.8日(前年同月比 +0.1日)

(3) 土・日・祝日の合計 10日(" 土曜1日増)

(4) 入店客数増減(回答店舗数で見ると傾向値/前年同月比/有効回答数110店舗)

①増加した：83店、②変化なし：20店、③減少した：7店

(5) 4月歳時記(春物商戦、GW)の売上(同上/有効回答数85店舗)

①増加した：31店、②変化なし：49店、③減少した：5店

全国百貨店 売上高速報 2022年4月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	377,827,741	100.0	19.0 (18.9)
10都市	278,493,918	73.7	24.0
札幌	9,492,512	2.5	14.7
仙台	5,391,964	1.4	15.2
東京	109,445,749	29.0	27.0
横浜	24,807,143	6.6	8.8
名古屋	26,292,127	7.0	12.7
京都	15,371,835	4.1	24.7
大阪	56,749,133	15.0	41.3
神戸	9,272,007	2.5	28.6
広島	7,246,508	1.9	5.2
福岡	14,424,940	3.8	13.3
10都市以外の地区	99,333,823	26.3	6.9 (6.5)
北海道	731,277	0.2	-4.8
東北	4,071,589	1.1	-4.2
関東	44,396,655	11.8	6.3
中部	7,300,532	1.9	9.1 (2.9)
近畿	14,492,477	3.8	12.9
中国	7,487,690	2.0	2.1
四国	5,118,553	1.4	24.4
九州	15,735,050	4.2	3.8

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	377,827,741	100.0	19.0 (18.9)
紳士服・洋品	22,351,622	5.9	23.8 (23.6)
婦人服・洋品	70,424,247	18.6	26.4 (26.0)
子供服・洋品	10,525,348	2.8	7.8 (7.8)
その他衣料品	6,417,084	1.7	7.6 (7.6)
衣 料 品	109,718,301	29.0	22.6 (22.3)
身のまわり品	58,746,126	15.5	34.0 (34.0)
化粧品	28,690,837	7.6	4.4 (4.4)
美術・宝飾・貴金属	35,287,252	9.3	28.1 (28.1)
その他雑貨	12,072,268	3.2	8.1 (8.1)
雑 貨	76,050,357	20.1	14.9 (14.9)
家 具	4,113,754	1.1	12.8 (12.8)
家 電	1,300,711	0.3	27.7 (27.7)
その他家庭用品	9,526,506	2.5	4.2 (3.8)
家 庭 用 品	14,940,971	4.0	8.2 (7.9)
生 鮮 食 品	16,872,497	4.5	-2.2 (-2.4)
菓 子	27,554,975	7.3	23.1 (22.9)
惣 菜	24,057,331	6.4	14.8 (14.5)
その他食料品	27,110,337	7.2	7.4 (7.3)
食 料 品	95,595,140	25.3	11.4 (11.2)
食 堂 喫 茶	8,491,861	2.2	44.4 (44.1)
サ ー ビ ス	4,412,252	1.2	24.5 (24.5)
そ の 他	9,872,733	2.6	11.5 (11.5)
商 品 券	6,440,717	1.7	3.4 (3.3)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

1. 10都市売上動向	24.0% (7か月連続プラス)
2. 10都市以外の地区売上動向	6.9% (店舗数調整後/3か月ぶりプラス)

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比 (増減率)	寄与度	トレンド
10都市	24.0	17.0	7か月連続プラス
札幌	14.7	0.4	2か月連続プラス
仙台	15.2	0.2	2か月連続プラス
東京	27.0	7.3	8か月連続プラス
横浜	8.8	0.6	2か月連続プラス
名古屋	12.7	0.9	7か月連続プラス
京都	24.7	1.0	7か月連続プラス
大阪	41.3	5.2	7か月連続プラス
神戸	28.6	0.6	2か月連続プラス
広島	5.2	0.1	2か月連続プラス
福岡	13.3	0.5	7か月連続プラス
10都市以外の地区	6.9	2.0	3か月ぶりプラス
北海道	-4.8	-0.0	3か月連続マイナス*
東北	-4.2	-0.1	11か月連続マイナス*
関東	6.3	0.8	2か月連続プラス
中部	9.1	0.2	3か月ぶりプラス
近畿	12.9	0.5	3か月ぶりプラス
中国	2.1	0.0	3か月ぶりプラス*
四国	24.4	0.3	2か月連続プラス
九州	3.8	0.2	3か月ぶりプラス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、全ての品目でプラスとなり、家庭用品を除く4品目が二桁増となった。その他の品目は、生鮮食品を除きプラスとなり、子供服・洋品が3か月ぶりにプラスとなったほか、美術・宝飾・貴金属が15か月連続、菓子、惣菜が8か月連続でプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比 (増減率)	寄与度	トレンド
総額	19.0	—	2か月連続プラス
紳士服・洋品	23.8	1.4	2か月連続プラス
婦人服・洋品	26.4	4.6	2か月連続プラス
子供服・洋品	7.8	0.2	3か月ぶりプラス
その他衣料品	7.6	0.1	3か月ぶりプラス
衣料品	22.6	6.4	2か月連続プラス
身のまわり品	34.0	4.7	7か月連続プラス
化粧品	4.4	0.4	2か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	28.1	2.4	15か月連続プラス*
その他雑貨	8.1	0.3	3か月ぶりプラス*
雑貨	14.9	3.1	7か月連続プラス
家具	12.8	0.1	3か月ぶりプラス
家電	27.7	0.1	3か月連続プラス
その他家庭用品	4.2	0.1	3か月ぶりプラス
家庭用品	8.2	0.4	3か月ぶりプラス
生鮮食品	-2.2	-0.1	11か月連続マイナス*
菓子	23.1	1.6	8か月連続プラス*
惣菜	14.8	1.0	8か月連続プラス*
その他食料品	7.4	0.6	4か月連続プラス*
食料品	11.4	3.1	7か月連続プラス
食堂喫茶	44.4	0.8	2か月連続プラス
サービス	24.5	0.3	3か月ぶりプラス
その他	11.5	0.3	4か月ぶりプラス
商品券	3.4	0.1	3か月ぶりプラス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 橘・長柴 まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>